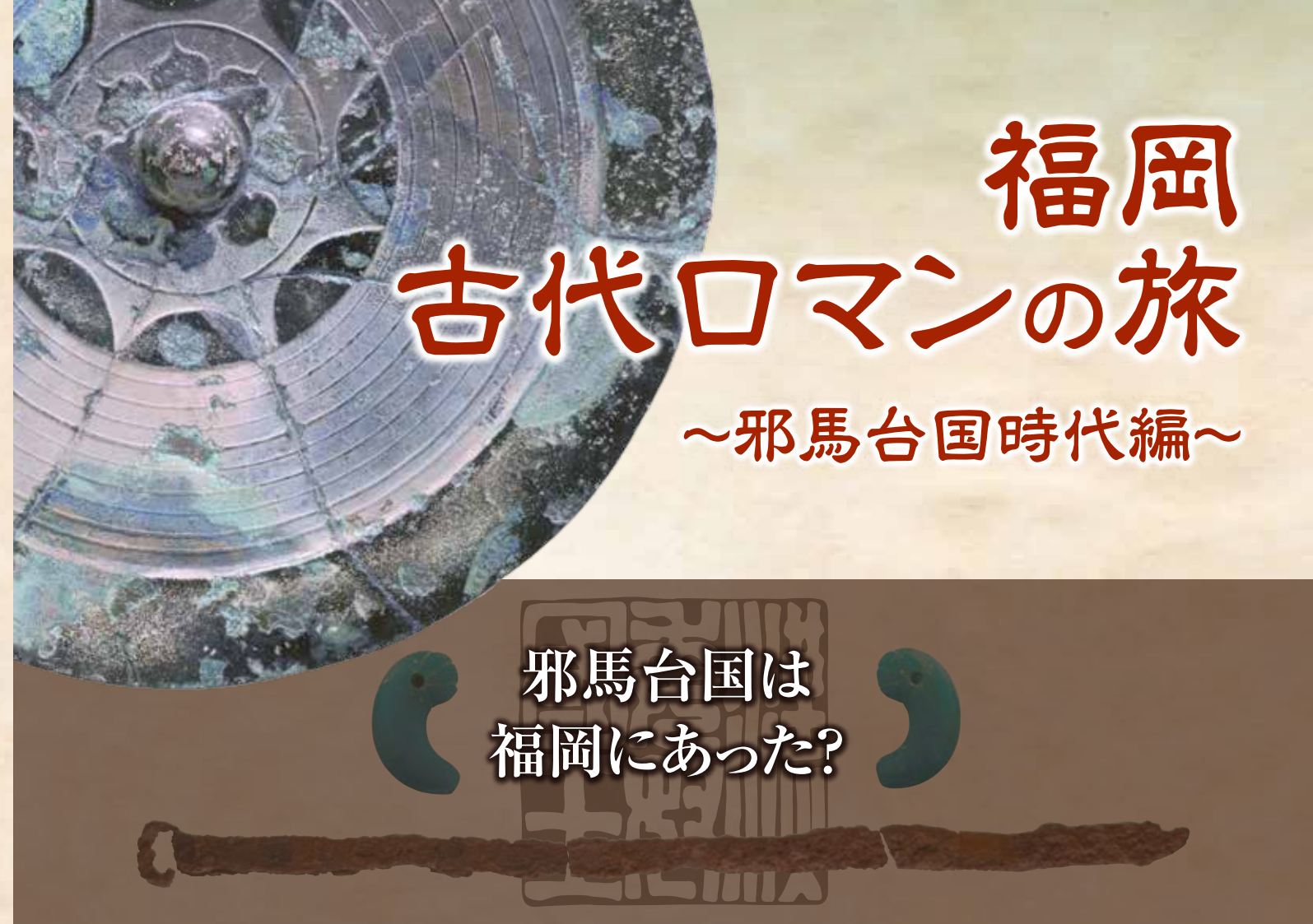


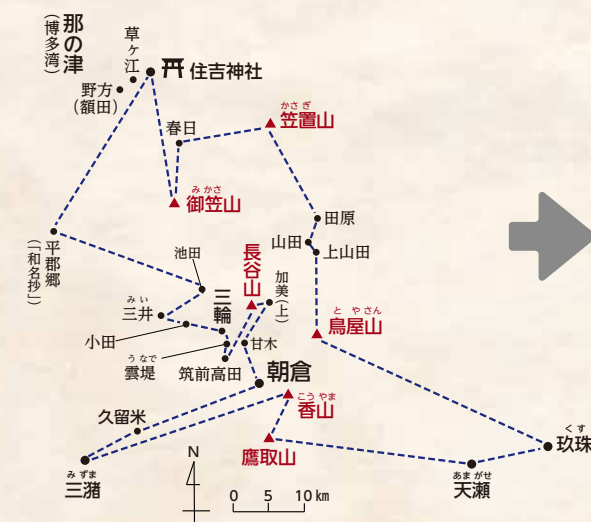
邪馬台国だけじゃない！ 福岡は古代遺跡の宝庫！

1 福岡市博物館  国宝「漢委奴国王」の金印を展示。古くからアジアとの交流を通して発展してきた福岡の歴史や人々の暮らしを最新の研究成果と展示方法で紹介。 福岡市早良区百道浜 3-1-1 Tel : 092-845-5011	2 九州国立博物館  国内最大規模を誇る国立博物館。九州とアジアの深い関係から「日本文化の成り立ちをアジア史的観点から捉える」をコンセプトにした歴史系博物館。 太宰府市石坂 4-7-2 Tel : 050-5542-8600 (NTT ハローダイヤル)	3 伊都国歴史博物館  「伊都国」時代の考古資料を中心に展示。3階国宝展示室には、国宝を含む平原遺跡出土品を数多く展示する「王墓の部屋」と「伊都国人の暮らし」展示室があり、考古学ファン必見の博物館。 糸島市井原 916 Tel : 092-322-7083
4 鴻臚館 (こうろかん) 跡展示館  7世紀後半から約 400 年間、海外賓客をもてなした古代の迎賓館。展示館は発掘した遺跡の上に覆屋を建て、遺構を発見時のままの姿で公開し、国際色豊かな出土品を展示している。 福岡市中央区城内1 Tel : 092-721-0282	5 大己貴 (おおなむち) 神社  大己貴神 (おおなむちのかみ=大国主神) を祀り、わが国で最も古い神社の1つと伝えられている。古くは大神神社と呼ばれており、奈良県桜井市の大神神社と共通している。 筑前町弥永 697-3 Tel : 0946-24-5805	6 新町遺跡展示館  弥生時代の支石墓や甕棺の発掘現場に覆屋をし、発掘風景を再現展示。特に稲作開始期の支石墓は中国大陸や朝鮮半島以外では糸島を含め西北九州でしか見られない貴重なもの。 糸島市志摩新町 71-1 Tel: 092-322-7083 (伊都国歴史博物館)
7 王塚古墳  日本を代表する超一級の装飾古墳。石室は春と秋の年 2 回一般公開。併設された「王塚装飾古墳館」には石室の実物大レプリカが展示。国指定特別史跡。 嘉穂郡桂川町寿命 376 番地 Tel : 0948-65-2900 (王塚装飾古墳館)	8 仙道古墳  6 世紀の装飾古墳。九州では珍しい「盾持武人埴輪」がほぼ完全な形で出土。周辺を古墳公園として整備。原寸大の石室のレプリカや復元された埴丘、埴輪の見学が可能。 筑前町久光 111-2 Tel: 0946-22-3385 (筑前町役場教育課)	9 岩戸山歴史文化交流館  — いわいの郷 — 北部九州最大の前方後円墳で筑紫君磐井の墓とされる岩戸山古墳。その北側に交流館が2015年11月末新たに開館。八女古墳群等の豊富な出土品を展示。 八女市吉田 1562-1 Tel : 0943-24-3200

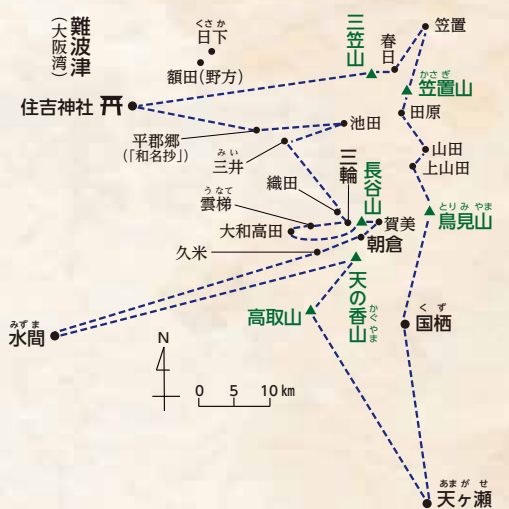


邪馬台国は
福岡にあった？

福岡県朝倉市周辺の地名



畿内大和周辺の地名



福岡「朝倉」と奈良「大和」の地名の不思議な一致

朝倉市から旧夜須町・三輪町にかけての古い地名が畿内大和の地名と同じで、位置関係也非常に似ていることを御存知ですか？

この事実に関して元産業能率大学教授 安本美典氏は「九州の邪馬台国勢力が東に移って大和朝廷をたてたさいに、もとの九州の地名を畿内に持っていった」「イギリスの人たちがアメリカに渡り、たとえばニューヨークとかニューハンプシャーとかイギリスの地名をたくさん持っていった。それと同じような事情があっただろう」と主張しています。

※上記地図は安本美典著「卑弥呼と邪馬台国」(1983 PHP研究所刊)を参考に作成
※表紙写真:「国宝 内行花文鏡」「国宝 素環頭大刀」「国宝 ガラス勾玉」3点すべて平原方形周溝墓出土品、文化庁保管、伊都国歴史博物館 展示

福岡県内の『邪馬台国』関連史跡

『魏志倭人伝』には当時倭国に存在した国の名前が30ほど記載されていますが、このうち所在地が定説化しているのは「対馬国」「一支国(杣岐)」「末盧国(唐津)」「伊都国」「奴国」の5か国です。そのすべてが九州にあり、そのうち2か国は福岡県に存在します。

「邪馬台国」の所在地は未だに特定されていません。

ただ、福岡県が古代史を考える上で重要な地域であることは間違いありません。ぜひ、福岡県内の史跡を訪ねて、古代日本に想いを馳せてください。

邪馬台国？～甘木・朝倉周辺～

朝倉市 ～ 邪馬台国有力候補地の1つ～

朝倉市周辺の地名が、奈良大和の地名と一致することは表紙で触れましたが、さらに他にも古事記で記述される「高天原」の地名との類似がみられます。例えば「甘木」をはじめとして「天」に関係する地名が多く見られ、安川（夜須川、現在の筑後川支流の小石原川）、香山、岩屋・岩戸など古事記に現れる地名が残っているのです。戦前「邪馬台国九州説」となえた歴史学者 白鳥庫吉は「卑弥呼=天照大神」との考察を行っています。この説に従えば、「邪馬台国=高天原」となり、「高天原」の地名が類推できる朝倉周辺に「邪馬台国があったのでは」との考察もできます。

候補地となるのは単に地名の一致だけでなく、甘木・朝倉周辺では実際に重要な遺跡・出土品が発見・発掘されているからでもあります。

朝倉市の国指定史跡「平塚川添遺跡」は300軒以上の住居を持ち、環濠の幅は最大15mもある大規模な遺跡で、低地性多重環濠集落としては福岡県内で初めての発見です。発掘されたのは一部分で、背後にある台地上の遺跡を含めると吉野ヶ里を凌ぐ国内最大の遺跡になる可能性が高いといわれています。現在は歴史公園として整備され、自然環境もふくめ忠実な復元が行われています。

お問合せ先：朝倉市 商工観光課観光振興係 TEL：0946-52-1428



朝倉市平塚 444-4 Tel：0946-21-7966
平塚川添遺跡公園

①平塚川添遺跡

国指定史跡。弥生時代の多重環濠集落跡。歴史公園として整備され、園内の体験学習館では、火おこしや勾玉作りなど古代の生活に親しめる様々な体験メニューが用意されています！



圧倒的な福岡県の考古学出土品！

データ上では九州説が有利？

品名	福岡	奈良
鉄鏡	398	4
鉄刀	17	0
鉄剣	46	1
鉄矛	7	0
鉄戈	16	0
出土品	15	2
青銅器	37	2

『魏志倭人伝』記載の弥生時代(3世紀)の主要な出土品の多くは九州・福岡に集中しています。

上のグラフは畿内説の有力候補地・纏向のある奈良と福岡の比較です。

邪馬台国時代の遺跡から出土するものにカギれば、福岡県と奈良県とのあいだには、圧倒的な差がある結果となっています。

※邪馬台国の会HP (http://yamatai.cside.com) 資料をもとにグラフ作成

奴国 ～福岡市・春日市周辺～

春日市 ～ 古代のテクノポリス！～

中国の歴史書「後漢書」の記述と「漢委奴国王」の金印で有名な奴国は福岡平野一帯を領域としていたというのが定説です。

その中心とされる春日市は弥生時代中期から後期の遺跡が多く、大規模な集落であったといえます。中でも国指定史跡「須玖岡本遺跡」は、奴国王の墓が発見されており、西暦57年に後漢の光武帝から金印を賜った王よりも数世代前の王の墓と推定されています。王墓の他、数百基におよぶ甕棺墓も発掘されています。

さらには、青銅器・ガラス製品の生産に関連する鋳型など多数の鋳造関連遺物出土し、これらを生産した工房跡群が確認されており、奴国の中心部が当時の最先端技術の集積地であったことを示しています。

お問合せ先：奴国の丘歴史資料館 TEL：092-501-1144

伊都国 ～糸島～

糸島市 ～ 魏志倭人伝の謎を解く手がかり～

卑弥呼が任命した派遣官「一大率」が置かれたと『魏志倭人伝』に記述のある伊都国は、糸島市一帯に中心地があったとするのが定説です。2014年6月放送のNHK「歴史秘話ヒストリア」では、「伊都国で女王となった卑弥呼が纏向（奈良県桜井市）に遷都した」との推論が展開されました。

伊都国の女王墓があるのが平原遺跡。日本最大の銅鏡「国宝 内行花文鏡」5面を含む計40面分の銅鏡が出土。弥生時代の1つの墓から出土した銅鏡の枚数としては日本一です。また鉄刀、ガラス製勾玉やメノウ製管玉など多数の副葬品も発見されており、ネックレス・ブレスレット・耳飾りなどの装身具が多く含まれるため、墓の主は女王と考えられています。伊都国歴史博物館では、国宝に一括指定された大量の出土品を一挙に公開展示しています。

お問合せ先：伊都国歴史博物館 TEL：092-322-7083



②平原王墓発見状況の原寸大模型 (伊都国歴史博物館)

発掘調査により、女王の遺体は、日向峠の方角に足を向けて埋葬され、春分と秋分の日に日向峠から昇る朝日が、煌々と王墓を照らすよう計算されていたことが判明。

この調査結果から平原王墓の女王は祭祀によって太陽と一体となった人物といえ、女王が「日の巫女」であったとする説が唱えられています。



■国宝 内行花文鏡 (伊都国歴史博物館 展示)

別名「内行花文八葉鏡」。直径46.5cm

は現在までに出土した銅鏡の中で日本最大。平原遺跡から5面分出土。発掘者の原田大六氏は、伊勢神宮御神体で三種の神器の1つ「八咫鏡」と同型ではなかったのかと考察しています。

咫とは古代の単位。国宝「内行花文鏡」の円周を計算すると八咫になります。これにより「内行花文鏡」は八咫鏡という説が成り立つということです。



■奴国王墓埋葬状態の復元 (春日市 奴国の丘歴史資料館 展示)



■青銅器工房の復元 (春日市 奴国の丘歴史資料館 展示)



春日市岡本 3-57 Tel：092-501-1144
奴国の丘歴史資料館

③須玖岡本遺跡

金印でおなじみの奴国の王墓や青銅器などの工房跡が集中している遺跡。「奴国の丘歴史資料館」に隣接する「奴国の丘歴史公園」では甕棺墓を発掘された状態で見学できます。